

製品名: NRF-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14891**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット、ウシ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	NRF1
別名	NRF1; Nuclear respiratory factor 1; NRF-1; Alpha palindromic-binding protein; Alpha-pal
遺伝子 ID	4899.0
SwissProt ID	Q16656
免疫原	抗血清はヒト NRF1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

背景

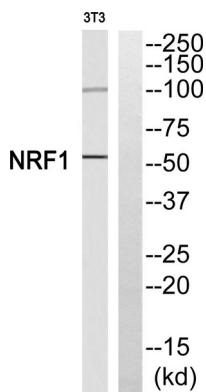
この遺伝子は、ホモ二量体を形成し、細胞増殖を制御する主要な代謝遺伝子、ならびに呼吸、ヘム生成、ミトコンドリア DNA の転写および複製に必要な核遺伝子の発現を活性化する転写因子として機能するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、神

経突起伸展の制御にも関与しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。この遺伝子は、公式の記号が NFE2L1 である「核因子（赤血球由来 2）様 1」と NRF1 という共通の記号を使用しているため、文献データベースにおいて混乱が生じています。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]、機能：EIF2S1（EIF2- α ）遺伝子の発現を活性化する転写因子。主要な代謝遺伝子の転写調節と細胞増殖および発達を結び付けます。呼吸、ヘム生合成、ミトコンドリア DNA の転写および複製に必要な核遺伝子の制御に関与する。、PTM：リン酸化は DNA 結合を促進する。、類似性：NRF1/Ewg ファミリーに属する。、サブユニット：ホモ二量体。二量体として DNA に結合する。PPRC1 と相互作用する。、組織特異性：普遍的に発現し、骨格筋で最も強く発現する。、

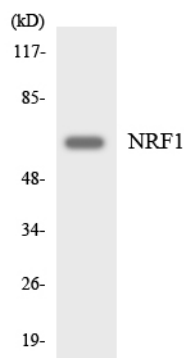
研究分野

ハンチントン病

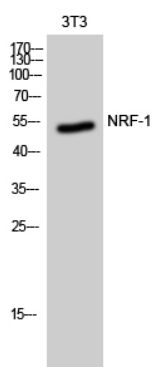
画像データ



NRF1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは NRF1 ペプチドでブロッキングされている。



NRF1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NRF-1 ポリクローナル抗体を使用した 3T3 細胞のウェスタンブロット分析。

